

ウクライナ：ククさんの釈放を求めよう！



ロシアがクリミアを違法に併合したことを批判して逮捕されたエミール＝ウセイン・ククさんの勾留期間が、2月11日で丸4年になります。

ロシアは併合当初から、ロシアに批判的な人たち、特に先住民族のクリミアタタール人を秘密裏に拘束していました。この事態を知ったククさんは、クリミアの人たちの権利を守る活動を始め、その後、失踪者を調査する人権団体に加わります。

その活動がロシア当局の目に留まり、情報提供者になるよう何度か持ちかけられましたが、拒否し続けました。その後は一転、捜査対象となり、2016年2月11日に拘束され、イスラム組織に関与したという根も葉もない容疑で起訴されたのです。

妻のメリエムさんは、夫の自由を取り戻すために活動家の支援団体に参加し、夫や同じく拘束されている仲間のために、積極的にメディアなどで発言しています。

現在、ククさんは、クリミアから700キロも離れたロシアの地で勾留されています。もし、有罪が確定すれば最高25年間、過酷な刑務所に投獄されるおそれがあります。

世界中で訴えれば、ククさんの投獄を阻止できます。こちらを[クリック](#)して表示された英文（「容疑は捏造です・・・」）をツイートしてください。または、ウェブサイトで“amnesty kuku campaign”を検索し、トップのAmnesty Internationalのサイトからでも可能です。

ぜひ、ロシア政府に「ククさんの容疑は捏造だ」を訴えてください。

パキスタン：大気汚染に首相が対応約束

カーン首相は昨年11月末、大気汚染問題で記者会見を開き、パンジャブ州の大気汚染を「沈黙の殺人者」と認め、専門家の提言に基づく対応策を発表しました。内外から指摘されてきた問題に、ようやく重い腰を上げたのです。

パキスタンでは毎年11月と12月を「スモッグの季節」と呼びますが、人口が密集するパンジャブ州のこの時期の大気汚染は、特に深刻です。戸外では呼吸困難に陥り、呼吸器疾患の患者が増え、学校は休校を余儀なくされます。

首都ラホールの大気質指数（大気汚染度）は、昨年11月21日に598を記録しました。この数値は、汚染度を示す6段階の最上位の第6レベル「300以上（健康に危険）」の中でも、極度に危険であることを意味します。

この数値の発表を受けて、アムネスティは即日、ラホール市民の命を守る UA（緊急行動）を世界に呼びかけ、政府に早急の対応を求めました。

この呼びかけが、世界のメディアの目に留まりました。ニューヨーク・タイムズ、TIME、BBC、ニューズウィーク、ワシントンポストが、「深刻な大気汚染の中、国は市民の健康危機への対応を怠ってきた」とパキスタン政府を厳しく批判したのです。

首相の記者会見の背景には、UA やその参加者、メディアの圧力がありました。首相は、大気汚染対策を語り、「危機を必ず克服する」と、意気込みを示しました。同席した気候変動担当大臣も、「空気が澄み、緑豊かで、持続可能な社会づくりに全土で取り組む。特に大気汚染と気象変動に対策を打つ」と約束しました。

国のトップが対応を約束したことは、大きな前進です。しかし、その後、何らかの対応を取ったという発表はなく、大気汚染の状況も、「（健康に）良くない」「非常に良くない」のレベルに留まったままです。

政府の実行力が問われています。今後もしっかり監視を続けていかなければなりません。

ギニア：不当逮捕の活動家を釈放

不当に逮捕・勾留されていた民主活動家 5 人の裁判が昨年末にあり、2 人が無罪判決、3 人が懲役 4 カ月執行猶予 3 カ月の判決を言い渡されました。有罪とされた 3 人は、控訴しました。

民主化運動団体のメンバーの 5 人は、政府の憲法改正に反対する集会を予定していたところ、直前になって他の行事を理由に集会許可を取り消されました。これに納得できず、集会を決行したところ、逮捕されたのです。

36 日間の勾留後に釈放された幹部の 1 人、アルセニ・フレインタ・カマラさんは、アムネスティに次のように話しました。「拘束環境は当初、大変ひどかったけれど、アムネスティなどの訴えのおかげで改善されたとし、釈放にもつながりました。皆さんの支援のおかげです」

スロバキア議会が中絶の権利制限法案を否決

スロバキアの国民議会は昨年 12 月 12 日、安全で合法的な中絶の道を閉ざしかねない法案を否決しました。

法案は、中絶手術を受ける要件として、超音波検査や胎児の画像撮影、胎児の心音検査などを義務付けるものでした。これは、医療に関する自己決定権とプライバシーの侵害であり、欧州における中絶制限の悪しき例になるところでした。

アムネスティなど 30 以上の団体が署名した公開書簡を国民議会議員に送り、同案への反対を求めました。そんな働きかけが奏功し、国民議会は、同法案を否決し、女性のプライバシーと意志を尊重し、女性の権利の後退に歯止めをかけたのです。

法案の否決は、国内外で法案に反対の声を上げた女性や人権活動家にとって大きな勝利です。声を上げ、行動を起こしたすべての人に感謝します。

ホンジュラス：著名環境活動家殺害犯に有罪

ホンジュラスの裁判所は 12 月 2 日、環境活動家のペルタ・カセレスさんを殺害したとされる容疑者 7 人に最高 34 年の刑を言い渡しました。

カセレスさんは、先住民族団体を立ち上げ、長年、開発の波から先住民族の生活と権利を守る活動をしてきました。そんな中、ダム建設計画が持ち上り、ダム建設は先住民族の生活や権利を脅かすとして建設に反対する運動を主導していました。

しかし、2016 年 3 月、悲劇に見舞われます。自宅で何者かの凶弾に倒れたのです。2 年後、容疑者 8 人が捕まり、そのうちの 7 人に今回、有罪判決が確定しました。残る 1 人は、実行犯に指図したとされる人物で、現在公判待ちです。



©Amnesty International/Sergio Ortiz

指示した人物は他にもいるとされていますが、いまだ捕まっていません。その結果、環境運動に関わる人々への嫌

がらせや脅迫は、今も続いています。

首謀者が拘束され、ホンジュラス各地で環境保全に取り組む人たちが、安心して活動できる日が一日も早く来ることが待たれます。

UA ニュース

発行: アムネスティ・インターナショナル日本

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F

TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778

E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円

郵便振替 00120-9-133251

加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本